



美化活動を実施しました



雨で順延されていた美化活動を、8月8日土曜日実施しました。8月の暑い最中で、熱中症等の対策を考えていましたが、比較的涼しく、活動には幸いました。実施方法は、計画通り4班に分け、堤防近くから、青柳駅まで、道路沿いに落ちているごみを拾って歩きました。この地区は、古くから住まわれているかたが多いせいか、大変きれいにされていて、ごみは少ないと思っていましたが、空瓶や空缶など回収され、驚いています。次回は11月頃を予定していますが、今回の反省点を活かし、日程の調整や、清掃場所等を環境会議で良く相談し、決定したいと思いますので、次回もご協力お願いします。

南三陸町、陸前高田市を訪ねて来ました

この夏の連休を利用して、東日本大震災で大きな被害を受けた、陸前高田、気仙沼、南三陸町、石巻、松島と回って来ました。漁業施設や建物の復興は急ピッチで進められていましたが、森林資源、湖沼の回復は手付かずの状況でした。風光明媚な松島、瑞巖寺の参道に厳かな雰囲気漂わせた森林は見る影もなく、津波の爪あとを残していました。保全か撤去か論じられている陸前高田の「奇跡の一本松」が印象的で、自然保護は先の話しになりそうです。



今月の生物多様性情報 水戸市植物園で水戸にゆかりの草花を見て回りました



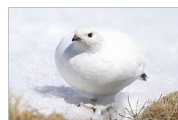
8月23日に、水戸市環境保全会議主催の「環境教室」を市民の皆様に参加していただき開催しました。今回のテーマは、水戸に古くから存在が確認されている草花、特に薬草として重用されていた植物を知ること、生態系の変化を確認し、固有種を守ることの重要性を知っていただくことでした。当日関心を集めた植物はアカザで、杖などの工芸品の材料として使用されて植物で、光岡公が愛用していたと、西川園長から説明を受けました。古来から身近にあった植物を、薬草として日用品として使かい、自然とともに生活していた時代を感じることができました。

社長コメント ～ KES審査の変更 ～



9月8日 火曜日 本年度のKES環境マネジメントシステムの審査が実施された。従来の方式は単年度形式で、目標を一年毎に決めていたが、三年毎に変更された。目標に必ず、生物多様性の活動を加えなければならないなど、KESの要求事項変更、対応できるよう理解を深めること。

今月の環境用語 「固有種」



その地域にだけ生息している種をいいます。日本では、小笠原諸島に生存するオガサワラトカゲ、沖縄西表島に生息しているイリオモテヤマネコなどが有名です。植物の中にも、その沼にだけ生息確認されている種があり、茨城の菅生沼に生息していた水生植物も次々姿を消しています。水戸の固有種もあったはずですが、今となっては確認出来なくなりました。

今月の環境目標進捗状況

	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量の削減	19,723kwh	19,008kwh	達成	91,723kwh	89,643kwh	102%	↑
一般ごみの削減	56袋	55袋	達成	324袋	322袋	101%	↑
エコキャップを回収	722個	864個	達成	4,161個	5,352個	129%	↑
美化活動の実行	50%	50%	達成	50%	50%	100%	↑
生物多様性保護支援	10%	10%	達成	40%	40%	100%	↑